

アルファ・ウイン 企業調査レポート

デジタルメディアプロフェッショナル (3652 東証マザーズ)

アルファ・ウイン 調査部

<http://www.awincap.jp/>

● 要旨

◆ 2017年3月期決算は従前予想並み

- デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）の2017/3期決算は、売上高が前期比5.4%減の694百万円（3Q決算公表時予想700百万円）、営業利益は263百万円の損失（同270百万円の損失）、経常利益は262百万円の損失（同270百万円の損失）、純利益は365百万円の損失（同360百万円の損失）であった。
- 自己資本比率は93.6%と前期末比4.7%ポイント上昇した。期末自己資本は前期末比330百万円減少（1,666百万円）したが、売掛金の減少、固定資産の減損処理により期末総資産が同464百万円減少（1,780百万円）したためである。

◆ 2017年3月期決算のセグメント別概況等

- 2017/3期決算の事業セグメント別売上高をみると、
 - ア) IPコアライセンス事業は253百万円（前期比0.4%減）。デジタルカメラ市場の縮小を受けたメーカーの新規投資抑制の影響があったものの、既存顧客向けのランニングロイヤリティ収入の好調で吸収し、ほぼ横ばいであった。
 - イ) LSI事業は1百万円（前期比99.7%減）。2016/3期はアミューズメント機器向けの2D/3DグラフィックスLSI「VF2」の出荷があったものの、2017/3期は「VF2」の性能評価ボードのみ売上を計上したため、大幅減収であった。
 - ウ) その他の事業は439百万円（前期比3.4倍）。バンダイナムコホールディングス（7832 東証一部）の完全子会社であるバンダイナムコエンターテインメントとの共同開発による画像処理プロセッサ「RS1」及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の受託開発等を計上したため、大幅増収となった。
- 「RS1」の開発に伴う研究開発費の増加から販売費及び一般管理費が前期に比べ135百万円増の710百万円となり、利益面では営業損失幅が前期比87百万円悪化し263百万円の営業損失となった。
- 保有する外貨建て預金の評価替えにより2016/3期では為替差損15百万円を営業外損失に計上していたが、2017/3期では為替差益0.3百万円を営業外収益に計上した。
- 特別損失は116百万円（前期0百万円）で、減損損失106百万円を計上した。顧客の需要が「VF2」から「VF2」の後継機種である「RS1」へ移行しており、「VF2」の2017/3期の販売が同社の計画数量に達しない可能性が高い状況を鑑み、「VF2」に係る固定資産の再評価を実施し、減損処理を行った。

◆ 2018年3月期業績予想

- 2018/3期業績について同社は、売上高1,100百万円（前期比58.4%増）、営業損失90百万円（前期は263百万円）、経常損失90百万円（同262百万円）、当期純損失90百万円（同365百万円）を見込んでいる。セグメント別売上高予想は開示していない。
- 同社が大幅増収を見込むのは、主に「RS1」の貢献によるものと思われるが、「RS1」の開発費計上に伴い営業利益は水面下に留まると見込んだ模様である。

決算メモ

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

・アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の2018/3期予想は従来予想を修正し、売上高1,150百万円（前期比65.7%増、前回予想1,600百万円）、営業損失10百万円（前期は263百万円の損失、前回予想10百万円の利益）を予想する。前回予想との相違は、主にLSI事業の売上高予想を900百万円から450百万円へと減額修正したためである。アミューズメント業界向け出荷を慎重な見方に修正した。

【3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2015/3	464	30.6	-462	-	-265	-	-311	-	-120.62	762.65	0.0
2016/3	733	58.1	-176	-	-193	-	-64	-	-23.89	736.12	0.0
2017/3	694	-5.4	-263	-	-262	-	-365	-	-134.37	609.89	0.0
2018/3 CE	1,100	58.4	-90	-	-90	-	-90	-	-32.93	-	0.0
2018/3 E	1,150	65.7	-10	-	-10	-	-10	-	-3.66	606.23	0.0

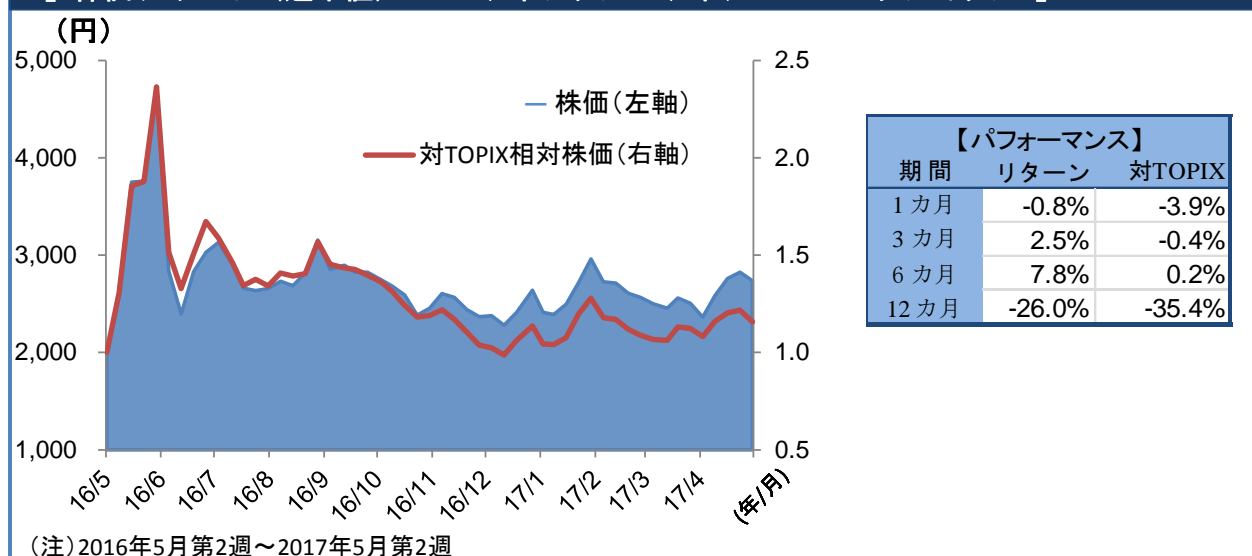
(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想

【株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル】

項目	2017/5/12	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	2,737	前期実績	-	4.5	-	-
発行済株式数 (株)	2,733,100	今期予想	-	4.5	-	-
時価総額 (百万円)	7,480					
潜在株式数 (千株)	83	前期末自己資本比率		93.6%	前期ROE	-19.9%

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【株価チャート (週末値) 3652 デジタルメディアプロフェッショナル】



ディスクレーマー

アルファ・ウイン 企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼により、アルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートでは、企業の保有する独自の製品・サービスや技術など、持続的成長に必要な競争力の源泉を明確に描き出すとともに、企業の外部環境や内部環境を強み・弱み・機会・脅威の4つのカテゴリーで分析するSWOT分析の企業戦略評価への活用、KPI（業績指標）やガバナンスの確認等も行っております。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。